

マイホーム・ドリーム 取扱い説明書 別冊

ゲームを始める前に——

家を設計する練習をしてみよう P.1

ゲームを無理なく進めるために——

家を設計する際のポイント P.4

ゲームを始める前に——

家を設計する練習をしてみよう

設計事務所の仕事を始める前に、家を建てる練習をしておきましょう。ゲームでいうと、取扱説明書P.12の流れ図の「家の設計」部分にあたります。なお、その「家の設計」ができる画面にいくまでは「顧客の選定」→「土地の購入」を済ませておく必要があります。操作は、取扱説明書のⅢ－4まで（P.22）にまかせますが、ここでは設計の練習が目的ですから、顧客は誰を選んでもかまいません。土地もできるだけ四角く、広めのものならばどんなものでもかまいませんが、値段だけは3000万円台のものを選んでおいてください。

部屋を作り、それを削除してみる

画面右側の操作パネルの「部屋」（この操作パネルの状態を、便宜上「初期状態の操作パネル」と呼びます）をクリックしてください。操作パネルが「居室」「L型」「廊下」…等に変わります。その中の「居室」をクリックすると、カーソルに沿って動く赤い枠があらわれます。

敷地内やや左上の方にマウスを移動させてクリックしてください。今度はマウスを右下方向に動かすと、部屋の大きさを表わす枠が広がります。クリックした位置で部屋の大きさが決まります。

次に部屋の種類を決めますが、試しに「LDK」をクリックしてください。「L」「D」「K」のウィンドウが出ますので、「K」をクリックしてください。赤い枠が太い黒線に変わりました。これで「台所」のできあがりです。

次は部屋の削除の方法を説明しましょう。右クリック1回で、カーソルが操作パネルに戻りますので、「削除」をクリックします。今作った部屋にカーソルを合わせてクリック、続けて「実行」をクリックしてください。また、削除モードは右クリック1回で抜けることができます。



各部屋を作る

台所、食堂、居間、浴室、トイレ、玄関の平屋建てという構成にします。

《台所》

最終的には、図7の縦6グリッド（取扱い説明書P.23）×横5グリッドの家を建てます。前項と同じ手順で縦2×横2の「台所」（図1）を作ってください。

《食堂》

次は「食堂」です。カーソルを図2の斜線の位置からクリックして、縦2×横2の部屋を作ります。今度は「LDK」→「D」の順にクリックしてください。さてこのとき、「この壁を開口しますか？」と聞いてきます。「台所」「食堂」「居間」は隣り合って作ろうとすると、壁を取り払ってひと続きにするかどうか決めなければなりません。ここでは「実行」をクリックしてください。

《居間》

今度は図3になるように縦2×横3の居間を作ります。「LDK」→「L」とクリックした後、居間の場合は「洋室」にするか「和室」にするかを聞いてきますので、ここでは「洋室」をクリックしてください。壁は今回も開口します。

《浴室・トイレ》

図4のように浴室とトイレを配置してください。浴室は「サニタリー」→「浴室」、トイレは「サニタリー」→「WC」です。

《玄関》

ここまでできたら、右クリック1回で一旦操作パネルに戻ってください。「玄関」をクリックした後、図5の斜線の位置からクリックして部屋の大きさを縦2×横2にします（*）。

この時、カーソルに沿って動く枠が小さなピンクに変わり、靴を脱ぐ「たたき」の部分を作ることができる状態になります。現在カーソルは、*でクリックした位置にあるはずですが、その位置でもう一度クリックした後、マウスを左上方向に動かして図6の斜線の大きさ（縦2×横1）にして再度クリックしてください。

《廊下》

最後に図7の斜線部分を廊下で埋めます。操作パネルの「廊下」をクリックした後、斜線部分をつづつクリックしてください。最後に数回右クリックして初期状態の操作パネルに戻しておきます。

設備（システムキッチン、トイレ、浴槽など）を設置する

家の間取りが終わったら次は設備を設置します。「設備」をクリックするとウィンドウが開きますので、「キッチン」→「ローフラットタイプ」→「シンク付キャビネット」→「設置」と順にクリックします。カーソルが小さなピンクの枠に変わりますので、図8の「シンク」の位置でクリックすれば設置完了です。なお、設置位置を間違ったときは次々項を参照して撤去してください。以下の設備も設置します。

「キッチン」	→	「ローフラットタイプ」	→	「コンロ付キャビネット」	→	「設置」
「キッチン」	→	「ローフラットタイプ」	→	「冷蔵庫キャビネット」	→	「設置」
「トイレ便器」	→	「便器」	→	「設置」		
「浴槽」	→	「タイル浴槽」	→	「設置」		

数回右クリックして初期状態の操作パネルに戻しておきます。

建具（ドア、襖、窓など）を設置する

操作パネルで「建具」をクリックしてください。まずは、玄関のドアを設置してみましょう。「玄関ドア」→「玄関親子ドア」→「アルミ製玄関ドア」→「設置」の後、図9の位置でクリックし、再度「設置」を選びます。図10の位置に以下の設備も設置します。

「一般ドア」	→	「室内単体ドア」	→	「木製木彫ドア」	→	「設置」
「一般ドア」	→	「浴室ドア」	→	「浴室ドア」	→	「設置」
「一般ドア」	→	「トイレドア」	→	「化粧室ドア」	→	「設置」

数回右クリックして初期状態の操作パネルに戻しておきます。

設備・建具を撤去する

設備・建具を撤去するには、画面上の設備や建具を直接クリックしてください。設置するときと同じ画面が表示されますが、「設置」のかわりに「撤去」と表示されていますので、そこをクリックしてください。

屋根をつける

画面下枠の「階層」→「1階屋根」と順にクリックしてください。1階部分が消えて、1階外壁部分を表わす青い枠だけが表示されます。操作パネルの「屋根」をクリックした後、部屋の大きさを決めたのと同じ方法で屋根をつけます。ここでは外壁いっぱいを屋根にしてください。

次に、屋根の棟を直線で設定します。1回目と2回目のクリックで、それぞれ棟の始点終点を決定しますが、とりあえず図11のように設定してください。なお、屋根の削除は屋根を直接クリックします。

着工する

右クリック1回で屋根をつけるモードから抜けた後、画面下枠にある「着工」をクリックしてください。着工の条件を満たしていれば着工していかどうか確認してきますので、「実行」をクリックします。画面に地鎮祭のグラフィックが表示され、しばらくすると家の外観が画面に表示されます。実際のゲームでは、以降は完成した家を見ながら家具を設置していきます。操作の詳細は取扱説明書（P.47）の「完成した家を見る」を参照してください。

ゲームを無理なく進めるために

家を設計する際のポイント

建蔽率に気をつけて四角い土地を選ぼう

図12のように非常にコンパクトな家を設計するとします。グリッドでいうと縦6×横9、建築面積（取扱説明書P.24の「建物」参照）は43.74㎡です。さて、あなたはその家を設計するために、不動産屋で「ある土地」に目をつけました。広さも100㎡と十分です。しかし、その土地の建蔽率（取扱説明書P.19参照）が40しかなかったら…。つまりこの土地には建築面積が40㎡の家しか建てられないのです！また、たとえ建蔽率でOKでも、その土地は縦6×横9のグリッドの部分がない、いびつな形をしているかもしれません。

あなたは、これから図12よりも大きな家を設計する機会があるでしょうから、建蔽率と土地の形には十分気をつけてください。

階段の位置に気をつけよう

図13は図12の2階部分です。もし、1階のトイレと階段の位置が逆だったらどうでしょう。バルコニー（取扱説明書P.33 L.9参照）や収納や廊下の各スペースも考慮に入れるとなると、2階の設計をかなり変更する必要があります。要するに、階段の1グリッドのズレでも、設計に影響がでてくることをわかっていただきたかったわけです。

この階段を含めた機能的な家の設計に慣れるためには、新聞に入ってくる不動産屋さんの広告の見取図などを、普段から目にされているとよいかもしれません。

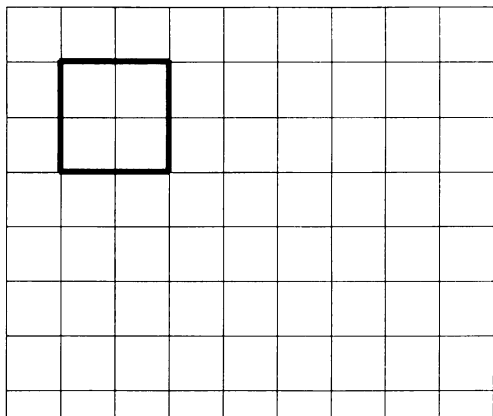


図 1

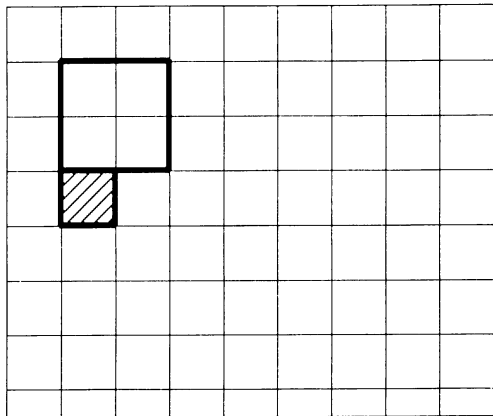


図 2

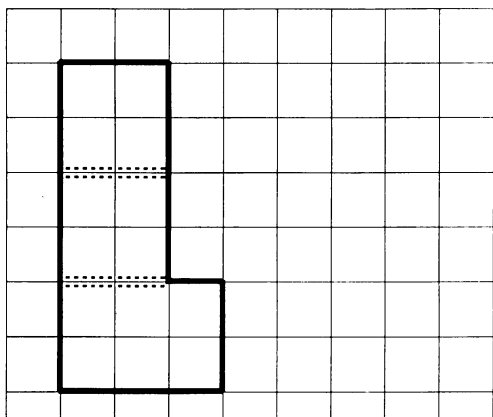


図 3

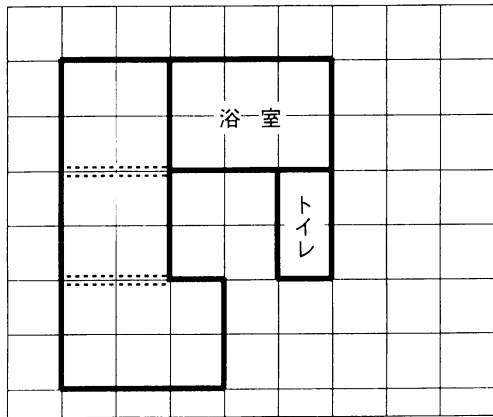


図 4

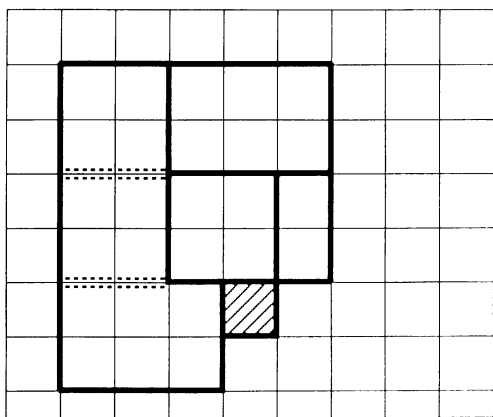


図 5

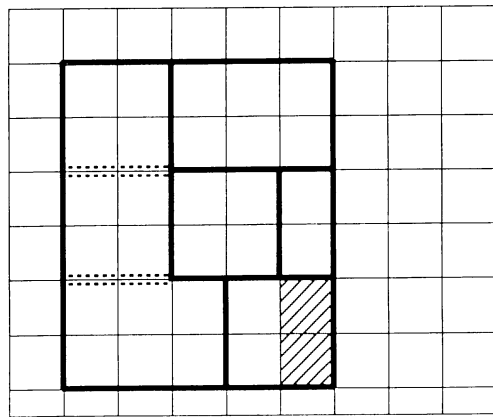


図 6

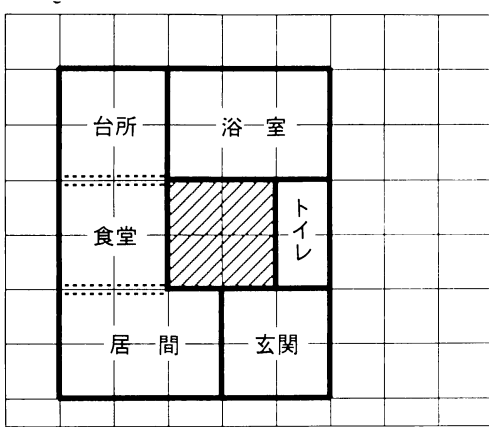


図 7

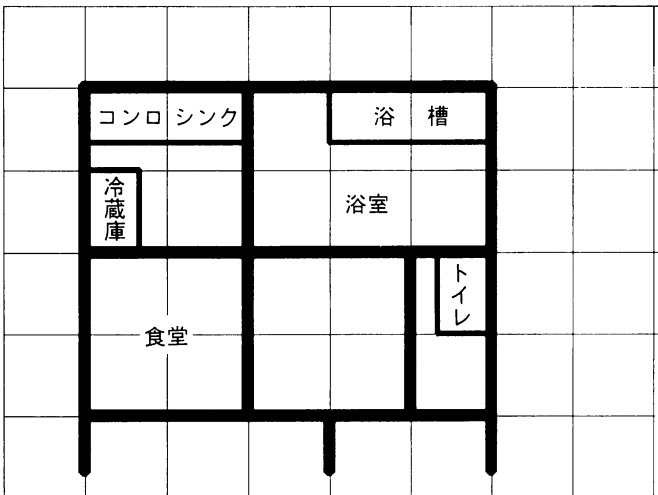


図 8

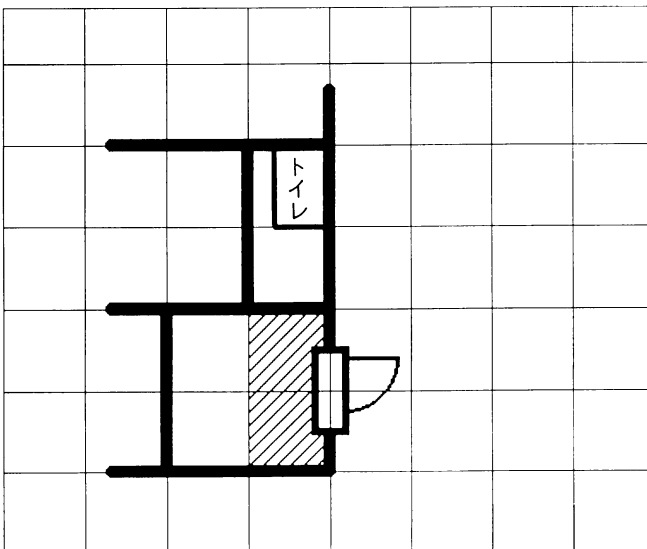


図 9

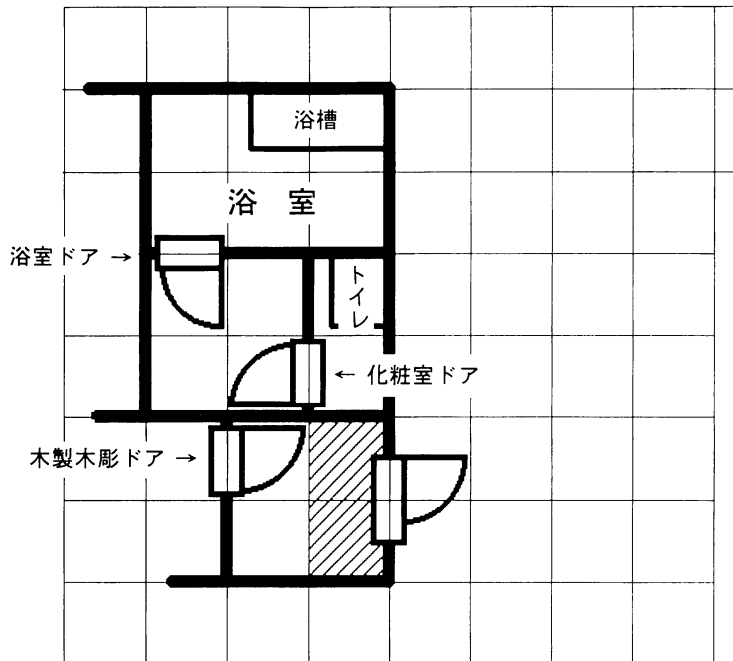


図10

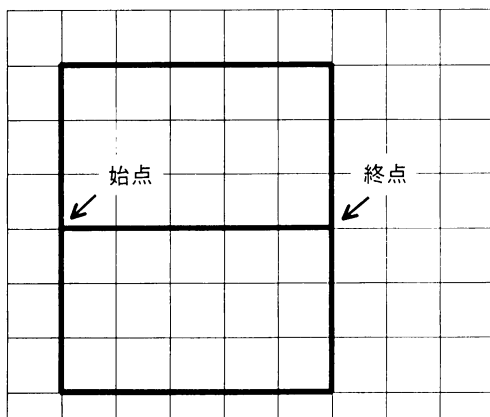


図11

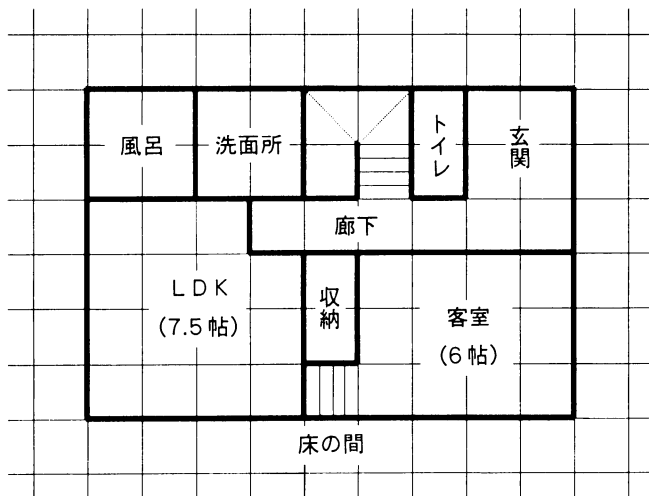


図12

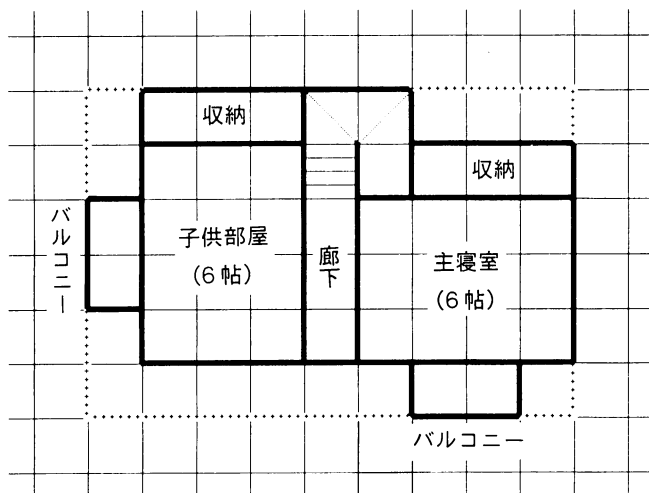


図13